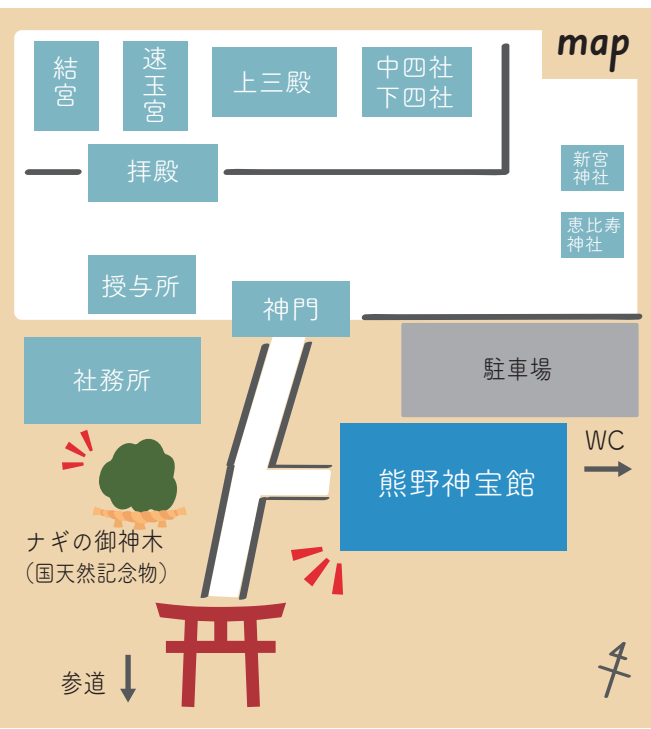
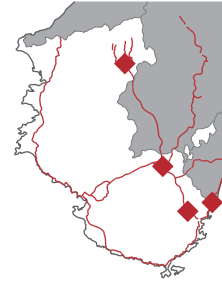


紀伊山地の霊場と参詣道 文化財巡礼のしおり



「紀伊山地の霊場と参詣道」は、和歌山、奈良、三重にまたがっています。「熊野三山」「高野山」「吉野・大峯」という日本有数の聖地と、それらを結ぶ参詣道の文化的景観の価値が認められ、2004年に世界遺産に登録されました。今年で登録 20 周年を迎えます。



熊野本宮大社

堂々たる社殿（重文）だけでなく、宝物殿には日本で二番目に古い鎌倉時代の「鉄湯釜」(重文)など、奉納品の数々が。



熊野那智大社

言わずと知れた那智滝、社殿（重文）に宝物殿と見所沢山。参詣曼荼羅や古代～中世の埋納品など、熊野の信仰を堪能。



那智山青岸渡寺

西国三十三所の第一番札所。見所は豊臣秀吉が命じて作らせた本堂。直径 140cm の大鰐口や鎌倉時代の仁王像なども。



高野山

「山の正倉院」と呼ばれる国内屈指の文化財の宝庫。高野山霊宝館には約 3 万点の国宝・重要文化財を収蔵。



和歌山県立博物館

1 年を通じて「聖地巡礼—熊野と高野—」と題し、特別展を開催中。6/15 から 3/9 まで、時期を分けて熊野三山と高野山のそれぞれにスポットを当てます。



本リーフレットは、世界遺産を構成する寺社のうち、美術工芸品の展示公開施設を有する寺社を対象に作成しています。

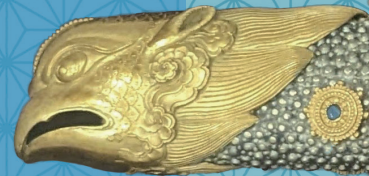
発行日 / 2024 (令和 6) 年 7 月
編集・発行 / 和歌山県教育委員会



紀伊山地の霊場と参詣道

熊野速玉大社

文化財巡礼のしおり



古神宝類のうち 金銀装鳥頭太刀

info くまのはやたまたいしゃ 熊野速玉大社 熊野神宝館

和歌山県新宮市新宮 1

Open 9:00-16:00

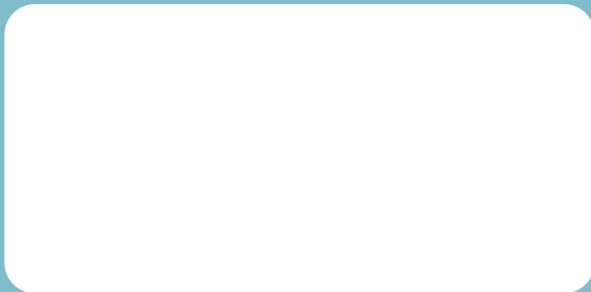
入館料 大人 500 円

高校生以下 無料

休館日 不定休



stamp



熊野速玉大社

あれも、これも、国宝。その数、千点以上！



平安時代前期のご神像群や、足利義満らによって明徳元年（1390）に神様へ捧げられた膨大な宝物（「古神宝類」）など、なんと千点以上もの国宝を所蔵する熊野速玉大社。ご神像は非公開ですが、珠玉の品々を熊野神宝館で見ることができます。



羽の1枚1枚を彫って表す超絶技巧！

こしんぼうるい きんぎんそうとりくびたち
古神宝類 金銀装鳥頸太刀

国宝

「鳥頸」の名の通り、柄（え）の先端に鳥の頭をかたどった太刀。実用品ではなく、儀式や奉納用の宝剣です。羽の一枚一枚まで丁寧に表すなど、神様への奉納品としてふさわしい、技巧を凝らした名宝です。



こしんぼうるい ぎよくはい
古神宝類 玉佩

国宝

玉佩は、男性貴族の正装で腰から垂らす装飾品。目録から主神である速玉大神にさげられたものであることが分かっています。唐草紋様が花開くように表された2つの盤や、それらを繋ぐガラス玉と花形飾りの数々。まるで宝石箱のようで、見ているだけでときめきます。先端についた水晶は歩いた時に音を鳴らすためのものだそう。どんな音がするのでしょうか。



こしんぼうるい なぎまきえ てばこ
古神宝類 椰蒔絵手箱

国宝

古神宝類は、熊野の12の神々と速玉大社の摂社であった阿須賀神社のために、衣装や扇、そして手箱などがそれぞれ13ずつ作られました。この手箱はそのひとつ。速玉大社のご神木でもあるナギが描かれています。その中身は貴族の化粧道具で、現代風に言えば、手鏡にコーム、アイブローブラシ、ファンデなどなど。まさに神様のためのメイクボックスです。



きゅうしつこんどうそう しんよ
髹漆金銅装神輿

重要文化財

古神宝類と同じく明徳元年に奉納された神輿。全国でも重要文化財になっている神輿はほんの一握りしかありません。昭和の頃までは、隣りに展示される船（こちらも重文！）と共に実際にお祭り（速玉祭）で使われていたというのだから驚きです。各面には凛々しい獅子が、屋根の四隅には燕が、そして頂点には鳳凰が表されています。探してみてください。

ひおうぎ 熊野速玉大社の檜扇

国宝

県指定文化財

平安時代の高貴な女性たちが持った檜扇。速玉大社古神宝類には、南北朝時代の本物の檜扇が伝わっています。室町時代以前の作で現存するものはごくわずか。登録20周年を記念して、7/6～8/18に「熊野神宝館」にて国宝檜扇の特別展示が行われます。ぜひ実物をその目でご覧ください。

ちなみに、重そうに見えますが、実はスマホよりも軽いのです！